追補版

SUZUKI サービスマニュアル

DR250R

DR 250 R W
DR 250 R L W
(低車高仕様)

概要 車歴

〔営業機種記号〕 DR250RW 〔通　称　名〕 DR250R 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－109180～ 発売：1998年2月	
〔営業機種記号〕 DR250RLW 〔通　称　名〕 DR250R 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－109235～ 発売：1998年2月	

DR 250 R Vに対するDR 250 R W及び
DR 250 R L Vに対するDR 250 R L Wの主な相違点

・クラッチプレートを変更しました。
・キャブレータセッティングを変更しました。
・ブレーキホースケーブルガイドを変更しました。
・デカールを変更しました。

この追補版はDR250RWはDR250RVに対する主な相違点を記載し、DR250RLWはDR250RLVに対する主な相違点を記載しました。これ以外の部分についてはDR250RV及びDR250RLVのサービルマニュアルを参照してください。

1998年2月発行
(平成10年)
もっと個性的に、もっとあなたらしく Personal Best SUZUKI
スズキ株式会社 サービスマニュアル
二輪サービス部
TK 40-26285

解説

クラッチ

・クラッチドライブプレート及びドリブンプレートを変更しました。

キャブレータ

・キャブレータセッティングを変更しました。

ニードルジェット（N.J.）	P-8（649）
スタータジェット（G.S.）	＃37.5

・キャブレータのメインボアのアウトレット側にフィルタを装備しました。

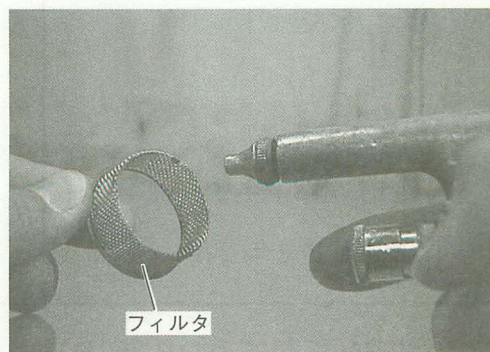
ブレーキ

・ブレーキホースケーブルガイドをスクリュ1本止めのものに変更しました。

燃料装置

キャブレータ

キャブレータの分解、組立

・キャブレータの分解はDR250RS 5-3～5-11を参照するが、以下の点に注意すること。
・フィルタに詰まりがある場合はエアガンで清浄すること。

・フィルタ組付け時は、フィルタの縁Ⓐが外側に向くように組み付けること。

キャブレータ

単位：mm

項　　　目		諸　　　元	
キャブレータ型式		TM28	
メーンボア径		φ28	
キャブレータ判別刻印		13E0	
アイドリング回転数		1500	rpm
油面基準（フロートレベル）		0±0.5	mm
メインジェット	(M.J.)	#115	
メインエアージェット	(M.A.J.)	φ2.0	
ジェットニードル	(J.N.)	6FN84-3	
ニードルジェット	(N.J.)	*P-8（649）	
パイロットジェット	(P.J.)	#47.5	
バイパス	(B.P.)	φ0.8	
パイロットアウトレット	(P.O.)	φ0.6	
バルブシート	(V.S.)	φ1.8	
スタータジェット	(G.S.)	*#37.5	
ピストンバルブ	(C.A.)	#1.5	
パイロットエアージェット	(P.A.J.)	1.3	
スロットルケーブルの遊び		2～4（グリップ回転量）	mm
パイロットスクリュ	(P.S.)	マスタ合わせ　　（約1 1/8回転戻し）	

*はDR250RV、DR250RLVとの相違点を示す。

追補版

SUZUKI サービスマニュアル

DJEBEL XC

DR 250 R X W
DR 250 R X L W
(低車高仕様)

概要　車歴

〔営業機種記号〕 DR250RXW 〔通　称　名〕 ジェベル250XC 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－109300～ 発売：1998年2月	
〔営業機種記号〕 DR250RXLW 〔通　称　名〕 ジェベル250XC 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－109420～ 発売：1998年2月	

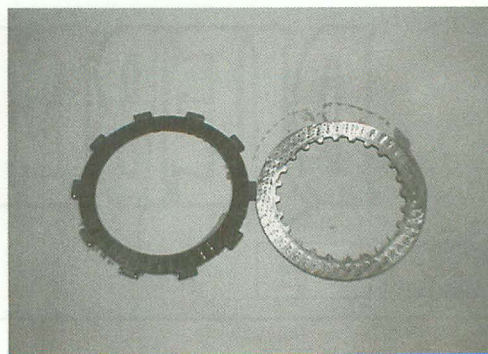
DR 250 R X Vに対するDR 250 R X W及び DR 250 R X L Vに対するDR 250 R X LWの主な相違点

・クラッチプレートを変更しました。
・キャブレータセッティングを変更しました。
・ブレーキホースケーブルガイドを変更しました。
・タイヤを変更しました。
・デカールを変更しました。

この追補版はDR250RXWはDR250RXVに対する主な相違点を記載し、DR250RXLWはDR250RXLVに対する主な相違点を記載しました。これ以外の部分についてはDR250RXV及びDR250RXLVのサービルマニュアルを参照してください。

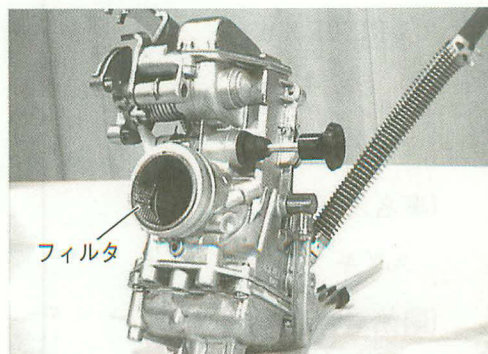
解説

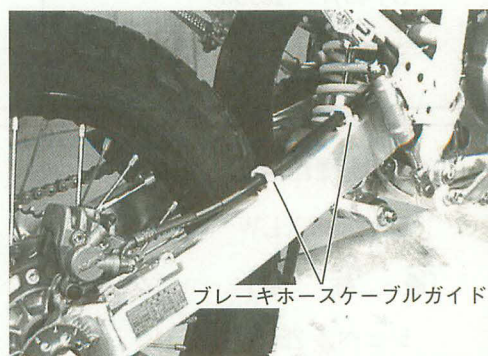
クラッチ

・クラッチドライブプレート及びドリブンプレートを変更しました。

キャブレータ

・キャブレータセッティングを変更しました。

ニードルジェット（N.J.）	P-8（649）
スタータジェット（G.S.）	＃37.5

・キャブレータのメインボアのアウトレット側にフィルタを装備しました。(DR250RW/LW 2ページ参照)

ブレーキ

・ブレーキホースケーブルガイドをスクリュ1本止めのものに変更しました。

タイヤ

・フロント、リヤタイヤを変更しました。
・フロントタイヤ―― ダンロップ D605F G
・リヤタイヤ――― ダンロップ D605 G

キャブレータ

単位：mm

項　　　目		諸　　　元	
キャブレータ型式		TM28	
メーンボア径		φ 28	
キャブレータ判別刻印		13E0	
アイドリング回転数		1500	rpm
油面基準（フロートレベル）		0 ± 0.5	mm
メインジェット	(M.J.)	#115	
メインエアージェット	(M.A.J.)	φ 2.0	
ジェットニードル	(J.N.)	6FN84-3	
ニードルジェット	(N.J.)	＊P-8（649）	
パイロットジェット	(P.J.)	#47.5	
バイパス	(B.P.)	φ 0.8	
パイロットアウトレット	(P.O.)	φ 0.6	
バルブシート	(V.S.)	φ 1.8	
スタータジェット	(G.S.)	＊#37.5	
ピストンバルブ	(C.A.)	#1.5	
パイロットエアージェット	(P.A.J.)	1.3	
スロットルケーブルの遊び		2 ～ 4（グリップ回転量）	mm
パイロットスクリュ	(P.S.)	マスタ合わせ　（約1 1/8回転戻し）	

＊はDR250RXV、DR250RXLVとの相違点を示す。

ブレーキ＋ホイール

単位：mm

項　　　目	標　準　値		使用限度
タイヤサイズ	前　輪	3.00-21 51P	
	後　輪	4.60-18 63P	
タイヤの種類	前　輪	＊ダンロップ D605F G	
	後　輪	＊ダンロップ D605 G	
タイヤ摩耗限度	前　輪	———	0.8（4.0）
（　）内は推奨値	後　輪	———	0.8（4.0）

＊はDR250RXV、DR250RXLVとの相違点を示す。

SUZUKI

DJEBEL GPS ver

追補版

サービスマニュアル

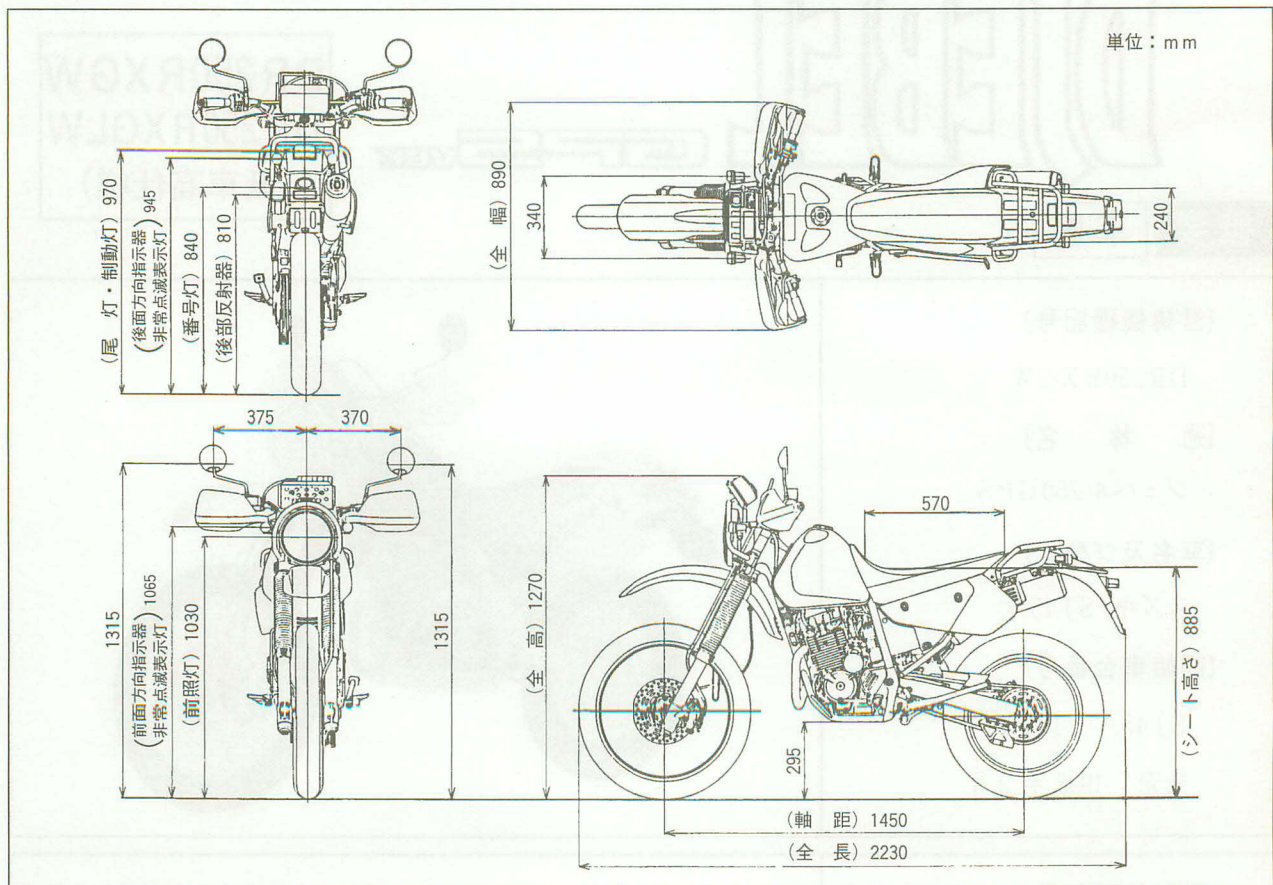
DR250RXGW
DR250RXGLW
(低車高仕様)

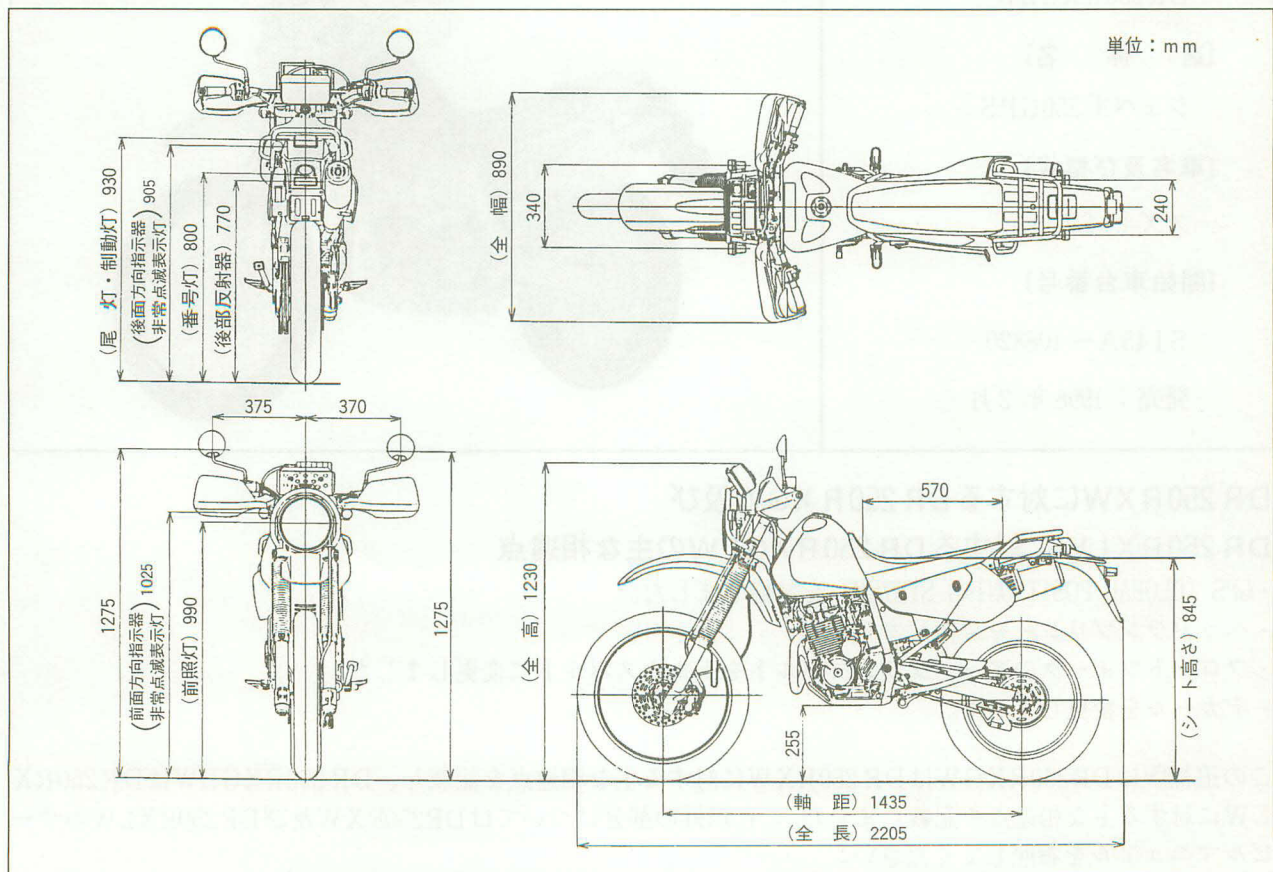
概要 車歴

〔営業機種記号〕 DR250RXGW 〔通　称　名〕 ジェベル250GPS 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－108815～ 発売：1998年2月	
〔営業機種記号〕 DR250RXGLW 〔通　称　名〕 ジェベル250GPS 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－108820～ 発売：1998年2月	

DR250RXWに対するDR250RXGW及び
DR250RXLWに対するDR250RXGLWの主な相違点

・GPS (GLOBAL POSITIONING SYSTEM) を装備しました。
・ヘッドランプリレーを装備しました。
・フロントフォークのアッパクランプボルトをトルクスボルトに変更しました。
・デカールを変更しました。

この追補版はDR250RXGWはDR250RXWに対する主な相違点を記載し、DR250RXGLWはDR250RXLWに対する主な相違点を記載しました。これ以外の部分についてはDR250RXW及びDR250RXLWのサービルマニュアルを参照してください。

外観四面図：DR250RXGW

外観四面図：DR250RXGLW

主要諸元

営業機種記号	*DR250RXGW	*DR250RXGLW
通称名	ジェベル250 GPS	
認定番号	Ⅱ-208	
車名及び型式	スズキ SJ45A	
自動車等の種別	軽（2輪）	
軸距	1.450 m	1.435 m
原動機の型式	J 425	
総排気量	0.249 ℓ	
類別	＊007	＊008
長さ	2.230 m	2.205 m
幅	0.890 m	
高さ	＊1.270 m	＊1.230 m
車両重量		
前軸量	＊66kg	
後軸量	72kg	
計	＊138kg	

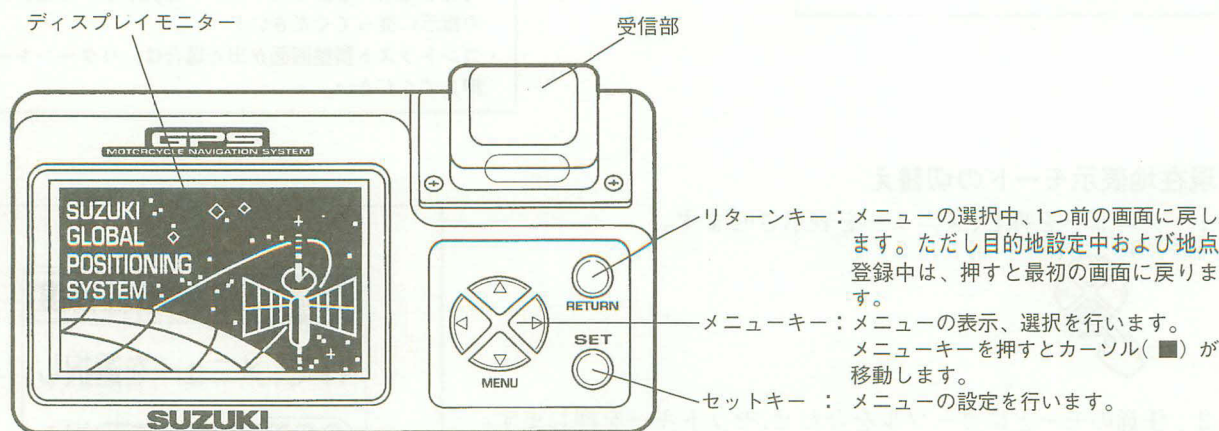
乗車定員	2人	
車両総重量		
前軸量	＊93kg	
後軸量	155kg	
計	＊248kg	
タイヤ		
前輪	3.00-21 51P	
後輪	4.60-18 63P	
最低地上高	0.295m	0.255m

＊はDR250RXGWはDR250RXWに対する相違箇所、DR250RXGLWはDR250RXLWに対する相違箇所を示す。

解説

GPS

・GPS(GLOBAL POSITIONING SYSTEM)を装備しました。
・GPSには、行きたい所を設定し、そこまでの方向と直線距離を表示する“目的地設定機能”と“現在地表示機能”があります。

各部の名称

ディスプレイモニター

・メインスイッチをONにすると、オープニング画面を約9秒間表示します。

➡

➡

〈目的地の方向、直線距離〉

・あらかじめ設定が必要です。
(20ページの「目的地の設定」参照)

・目的地の方向は、1km以上離れている場合は8分割で、1km以内は16分割で表示します。また方向を示す矢印は、衛星の電波を受信しているときは◀、受信していないときは◁になります。受信がなく、かつ地磁気が異常の場合、矢印は表示されません。

・目的地までの直線距離が、10km以上はkm単位まで、10km未満は100m単位まで表示します。

・目的地の1km付近になると

…と表示します。

・目的地の200m付近になると

…と表示します。

〈受信状態〉

GPS 衛星電波の受信状態を表示します。

・4個以上受信

・3個受信

・0～2個受信　　表示なし

・受信なしの走行を1km以上続けると"GPS圏外を㎞走行"のメッセージを表示します。

目的地
N
225km
静岡県浜松市
高塚町付近

〈方位〉

進行している方位を表示します。

〈現在地〉

現在地表示には、一般道、高速道、経緯度の3種類の表示モードがあります。
(18ページの「現在地表示モードの切換え」参照)

参考

・オープニング表示後、"リセットされましたGPSが受信可能な場所へ移動して下さい"と表示された場合はその指示に従ってください。

・コントラスト調整画面が出た場合は、リターンキーを押してください。

現在地表示モードの切替え

1．メニューを押し、メニューを表示させます。

2．任意のモードにカーソルを合わせ、セットキーを押します。

一般道 高速道 経緯度
◀▶で、メニューを選択し
SETを押して下さい

< 一般道モード>
現在地付近の地名または交差点名、JR駅名、役所を表示します。
・交差点は で表示します。
・地名は省略して表示する場合があります。

< 経緯度モード>
現在地の緯度と経度を表示します。
※Nは北緯、Eは東緯を示します。

< 高速道モード>
車の前方にある、現在地から最も近い施設(ICまたはSA、PA、JCT)の名称と直線距離、および次に近い施設の名称と直線距離を表示します。
・施設の2km以内に近づくと
2km以内0kmまで:
< 例> 浜名湖SA付近…と表示します。

※IC:インターチェンジ、SA:サービスエリア、PA:パーキングエリア、JCT:ジャンクションを示します。

目的地の設定
目的地を住所、JRの駅、IC、SA、経緯度、施設、一覧(※)から選んで設定することができます。
※一覧:あらかじめ登録した目的地一覧で、10か所まで登録できます。
(DR250RXGW/XGLW 19～20ページの「地点登録」参照)

参考
・エンジンを停止したままで長時間使用しないでください。バッテリーあがりの原因となります。
・目的地の変更も設定と同じ要領でできます。

設定のしかた

1. 現在地表示の状態で、セットキーを押すと次の画面になります。

設定・登録
目的地設定　地点登録

2. 「目的地設定」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

目的地設定
設定・変更　解除
RETURNで、前に戻ります

3. 「設定・変更」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

・以降は次ページ以降設定例を参照ください。

設定例(住所)

東京都葛飾区柴又3丁目付近を設定

1. 「住所」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

2. メニューキーで「東京都」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

【目的地設定変更-住所】
東京都
青ヶ島村 昭島市 あきる野市

3. メニューキーで「葛飾区」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

4. メニューキーで「柴又3」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと設定完了です。**“設定完了しました”**のメッセージを表示します。

・2～3 秒後現在地表示になり、設定地の方向と直線距離を表示します。

参 考

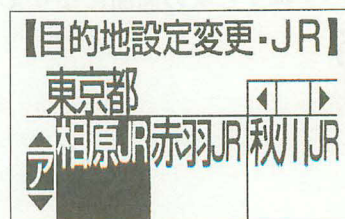
・郡名は表示しません。
・番地は設定できません。

設定例(JR)

JR東京駅を設定

1. 「JR」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

2. メニューキーで「東京都」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

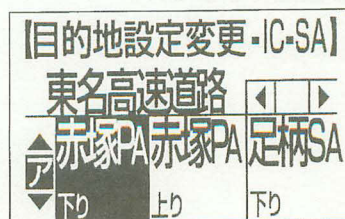
【目的地設定変更-JR】
東京都
相原JR 赤羽JR 秋川JR

3. メニューキーで「東京JR」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと設定完了です。**"設定完了しました"** のメッセージを表示します。

・2〜3 秒後現在地表示になり、設定地の方向と直線距離を表示します。

設定例(IC.SA)

東名高速・浜名湖SAを設定

1. 「IC、SA」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

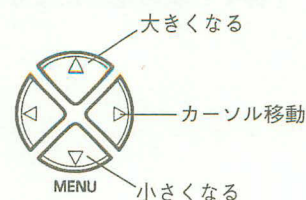
2. メニューキーで「東名高速」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

3. メニューキーで「浜名湖SA」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと設定完了です。**"設定完了しました"** のメッセージを表示します。

・2〜3 秒後現在地表示になり、設定地の方向と直線距離を表示します。

設定例(経緯度)

1.「経緯度」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

【目的地設定変更・経緯度】
現在地点は
緯度 34° 41′ 26″ N
経度 137° 41′ 25″ E

2. メニューキーで経度、緯度の各単位にカーソルを合わせ、数値を大きくする場合は上のメニューキー、小さくする場合は下のメニューキーを押します。

3. セットキーを押すと設定完了です。**“設定完了しました”**のメッセージを表示します。

・2～3 秒後現在地表示になり、設定地の方向と直線距離を表示します。

設定例施設)

明治村を設定

1.「施設」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと右の画面になります。

・「次へ▶」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと右の画面になります。

・「◀前へ」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと上の画面になります。

【目的地設定変更・施設】
◀前へ　フェリー
動物園　水族館

2.「遊園地」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

【目的地設定変更-施設】
カ
香川県 鹿児島県 神奈川県

3. メニューキーで「愛知県」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

4. メニューキーで「明治村」を捜し、カーソルを合わせ、セットキーを押すと設定完了です。**"設定完了しました"**のメッセージを表示します。

・2～3秒後現在地表示になり、設定地の方向と直線距離を表示します。

設定例（一覧）

1.「一覧」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

【目的地設定変更-一覧】
0愛知県赤羽根町赤羽根
1青森県青森市青森IC
2石川県穴水町旭ヶ丘

2. 任意の位置にカーソルを合わせ、セットキーを押すと設定完了です。**"設定完了しました"**のメッセージを表示します。

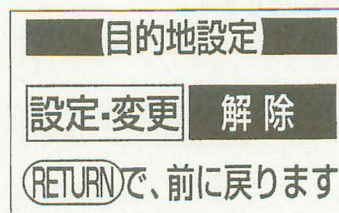
・2～3秒後現在地表示になり、設定地の方向と直線距離を表示します。

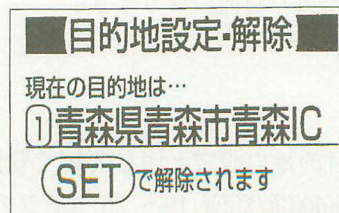
目的地の解除

1. 現在地表示の状態で、セットキーを押すと次の画面になります。

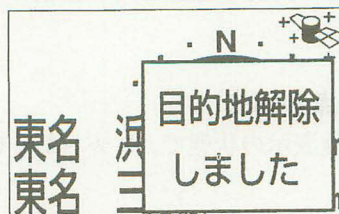
設定･登録
目的地設定 地点登録
現在の目的地は…
①青森県青森市青森IC

2. 「目的地設定」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

目的地設定
設定･変更 解 除
RETURNで、前に戻ります

3. 「解除」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

目的地設定･解除
現在の目的地は…
①青森県青森市青森IC
SETで解除されます

4. セットキーを押すと解除完了です。**“目的地解除しました”**のメッセージを表示します。

参 考

中止する場合は、セットキーを押す前にリターンキーを押してください。

地点登録

よく行く所をあらかじめ登録、10か所までメモリしておくことができます。

1. 現在地表示の状態で、セットキーを押すと次の画面になります。

設定･登録
目的地設定 地点登録

2.「地点登録」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

3.「登録・変更」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

4. 登録欄(0～9)のいずれかにカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

・以下目的地の設定と同じ要領で登録します。
(DR250RXGW/XGLW 19～20ページの「目的地の設定」参照)

参 考

・中止する場合は、セットキーを押す前にリターンキーを押してください。
・登録地の変更も登録と同じ要領でできます。

登録地点の消去

1. 現在地表示の状態で、セットキーを押すと次の画面になります。

2.「地点登録」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

地点登録
登録・変更
消去
RETURNで、前に戻ります

3.「消去」にカーソルを合わせ、セットキーを押すと次の画面になります。

4.任意の位置にカーソルを合わせ、セットキーを押すと消去完了です。**"地点消去しました"** のメッセージを表示します。
・2 ～3 秒後現在地表示になります。

参 考

中止する場合は、セットキーを押す前にリターンキーを押してください。

コントラストの調整

モニターのコントラストを調整できます。

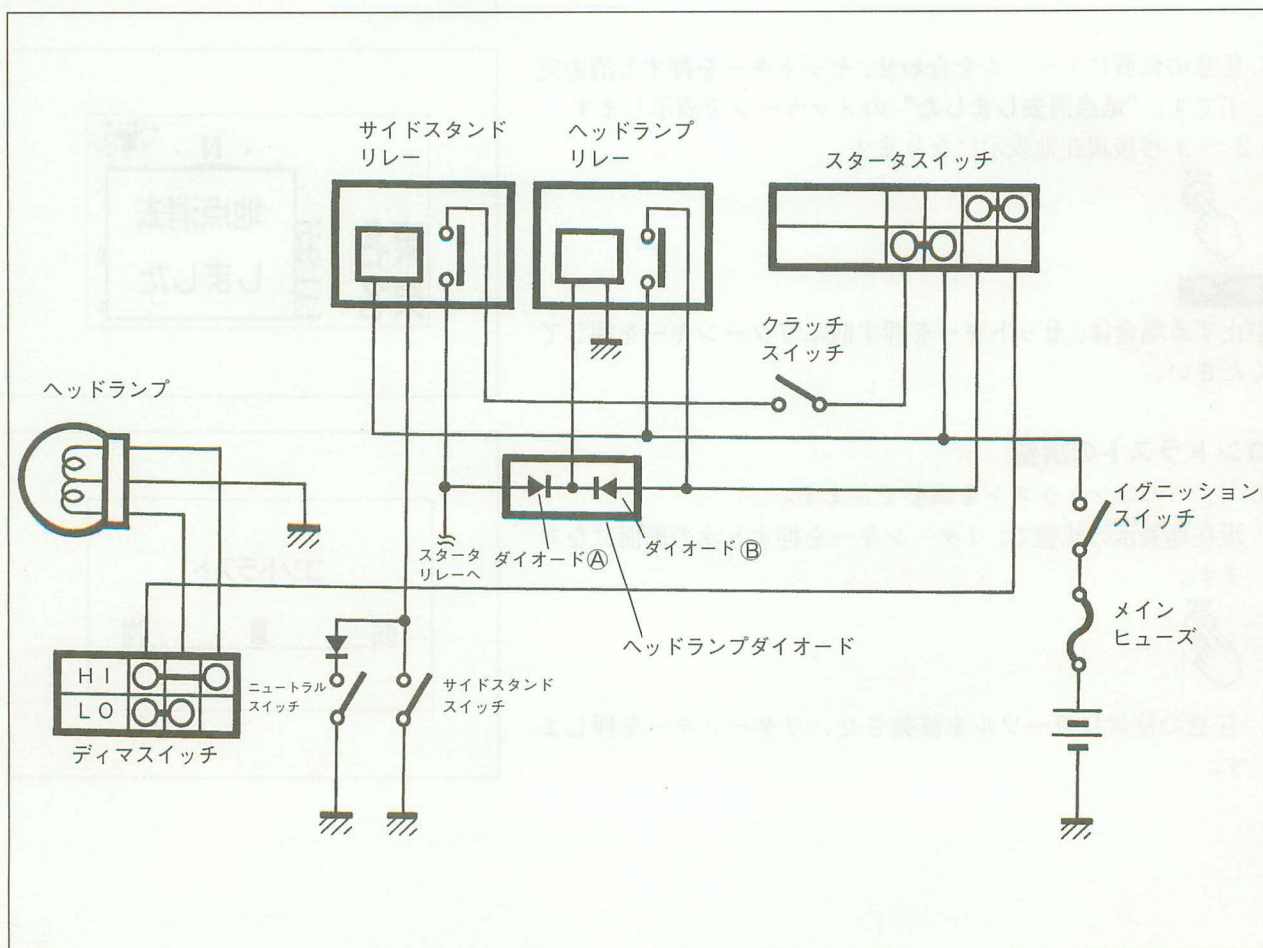
1.現在地表示の状態で、リターンキーを押すと次の画面になります。

2.任意の位置にカーソルを移動させ、リターンキーを押します。

解説

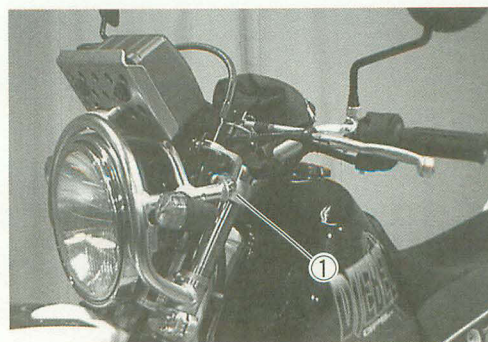
ヘッドランプリレー

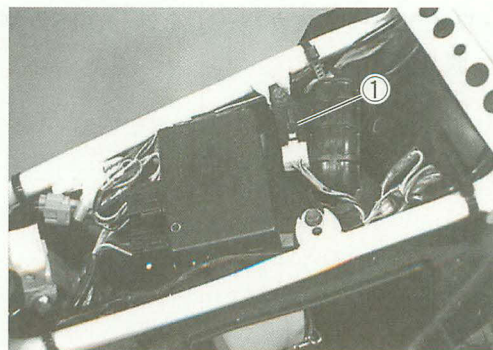
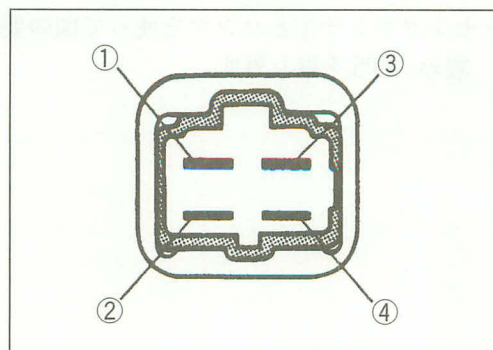
・エンジン始動前はヘッドランプを消灯しておくようにヘッドランプリレー及びヘッドランプダイオードを装備しました。
・イグニッションスイッチをONにしただけではヘッドランプは点灯しません。
・エンジンが始動できる状態にあり、スタータスイッチを押すと、ダイオードⒶに電流が流れヘッドランプリレーがONになります。ヘッドランプリレーがONになることによりダイオードⒷに電流が流れ、ヘッドランプリレーがONのまま維持されます。スタータスイッチを放すとディマスイッチに電流が流れヘッドランプが点灯します。

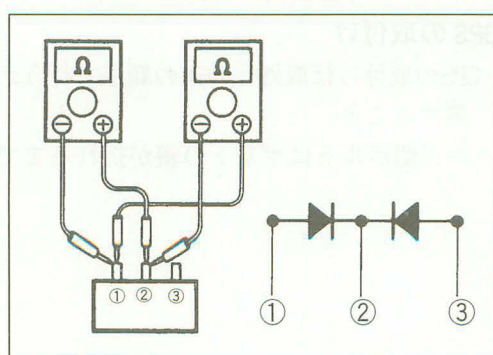
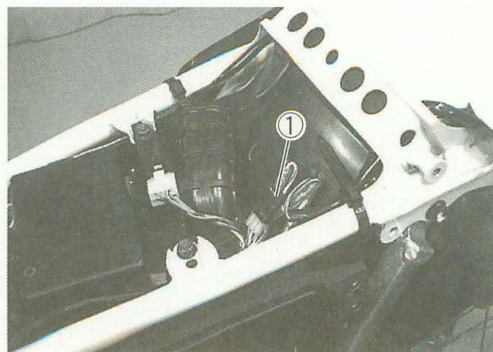
サイドスタンド
リレー
ヘッドランプ
リレー
スタータスイッチ
クラッチ
スイッチ
ヘッドランプ
イグニッション
スイッチ
スタータ
リレーへ
ダイオードⒶ
ダイオードⒷ
メイン
ヒューズ
ヘッドランプダイオード
HI
LO
ニュートラル
スイッチ
サイドスタンド
スイッチ
ディマスイッチ

フロントフォーク

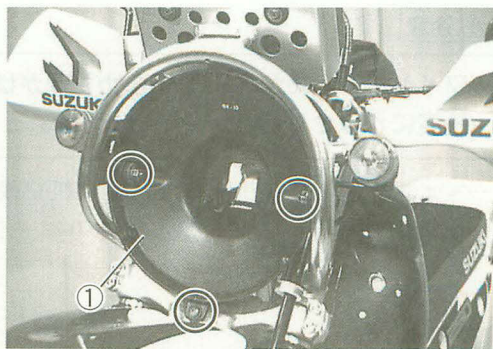
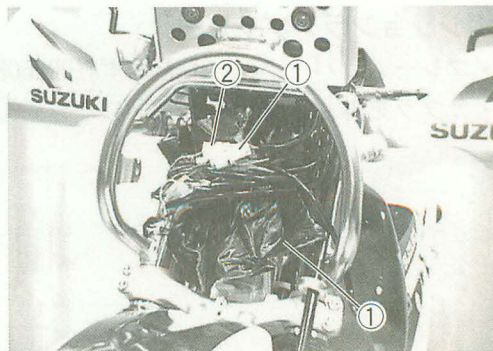
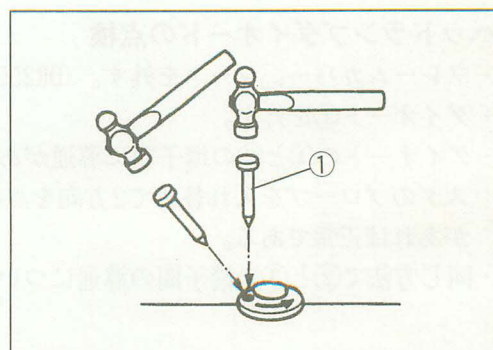
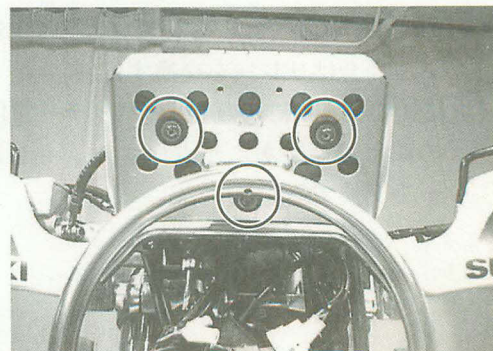
・フロントフォークのアッパクランプボルト①をトルクスボルトに変更しました。

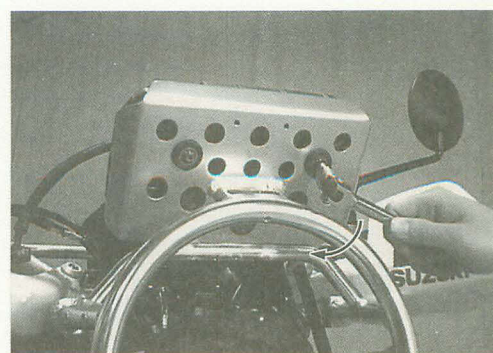
TOOL トルクスビット（JT40H）：09930-11920
ビットホルダ：09930-11940

フロントフォークアッパクランプボルト
：26 N・m ｛2.7 kgf・m｝

ポジションランプリレー

・フレームカバー、シートを外す。(DR250RS 6-1ページ参照)
・カプラを外しポジションランプリレー①を取り外す。

・ポケットテスタで①、②に導通がないか点検する。もし導通がある場合はリレーを交換する。
・次に③に⊕、④に⊖の12Vのバッテリ電圧をかけたとき、①、②の間に導通があるか点検する。もし導通がない場合はリレーを交換する。

ヘッドランプダイオードの点検

・フレームカバー、シートを外す。(DR250RS 6-1ページ参照)
・ダイオード①を外す。
・ダイオードの①と②の端子間に導通があるか、図のようにテスタのプローブを入れ替えて2方向を点検し、1方向のみ導通があれば正常である。
・同じ方法で②と③の端子間の導通についても点検する。

GSPの取外し

・ヘッドランプを取り外す。(DR250RXT 12ページ参照)
・ヘッドランプハウジング①を取り外す。

・ワイヤハーネスカバー①を外し、GPSカプラ①及びギボシ②を取り外す。

・センタポンチ①とハンマを使って図の要領でネジ切ボルトを緩め、GPSを取り外す。

GPSの取付け

・GPSの取付けは取外しの逆の順序で行うが次の点に注意して作業すること。
・ネジ切ボルトはボルトの頭が折れるまで締め付けること。

⚠注意

ワイヤハーネスカバー①から、カプラがはみ出さないように確実にかぶせること。

・ヘッドランプを取り外したときは組立後ヘッドランプの照射位置調整を行うこと。(DR250RXT 9ページ参照)

ワイヤハーネス組立図

ハンドルスイッチ（右）
ハンドルスイッチ（左）
メータブラケット
を共締めする
カプラがはみ出さ
ないようカバーを
かぶせること
フロントターンシグナルカプラ
サイドスタンドスイッチ
ニュートラルスイッチのリード線クランプ
リヤターンシグナル（右）
ライセンスランプのリード線クランプ
マグネト･ストップランプスイッチの
リード線クランプ
リヤターンシグナル（左）
リヤコンビネーションランプ
のリード線クランプ
クランプ
組付基準
レギュレートレクチファイヤ
ワイヤリングハーネス
スロットルケーブルのクランプ
スタータモータ線は
オイルアウタホースの
下を通し全てのリード線
の外側を通す
マグネトリード線のみ
サスペンションホースの外側を通す
バッテリ⊖リード線は
すべてのリード線の
内側を通す
組付後、端子を下に曲げる
スタータモータ端子組付方向
35°～45°
5°～10°
エンジンアース端子組付角度
サイドスタンド
スイッチの
クランプ
ストップランプスイッチのクランプ
リヤターンシグナル（右）
ライセンスランプのクランプ
スタータリレー及びフューズ
バッテリターミナル⊖
バッテリターミナル⊕
ライセンスランプ
のクランプ
リヤターンシグナル（左）
リヤコンビネーションランプ
のクランプ

電気配線図

ハイビームパイロットランプ		2W
ニュートラルパイロットランプ		2W
ターンシグナルパイロットランプ		2W
メータランプ		3W
ライセンスランプ		5W
ターンシグナルランプ		15W
リヤコンビネーションランプ	ストップ	21W
	テール	5W
ヘッドランプ	HI	60W
	LO	55W

色記号	
B	黒
Br	茶
G	緑
Gr	灰
L	青
Lg	若葉
O	橙
R	赤
Sb	空
W	白
Y	黄
P	桃